

広島県中小企業団体中央会 2017年7月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比7.7%減少、前年同月比22.4%増加、売上高は前月比10.4%減少、前年同月比14.8%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

今月の売上は、夏場で少し落ち込みはあるものの、例年通り秋に向けて住宅着工件数も順調に伸びてきており、今後は上向く気配がある。

広島県木材協同組合連合会

平成29年6月の全国の住宅着工戸数は87,456戸で、前年同月比1.7%増加、また、季節調整済年率換算値では100.3万戸（前月比0.6%増加）となった。利用関係別では、持家は26,037戸で前年同月比3.4%減少、貸家は35,967戸で前年同月比2.6%減少、分譲住宅は24,976戸で前年同月比15.5%増加となった。なお、木造住宅の着工数は47,786戸で、前年同月比0.6%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で先月の減少から再び増加となっている。

こうした全国の動きに対し、広島県内の6月の着工戸数は1,544戸で前年同月比16.2%増加、このうち、持家は483戸で前年比9.3%の増加、貸家は729戸で前年比88.4%増加、分譲は324戸で前年比35.2%の減少となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の堅調な動きの反動による一時的な減少傾向から、再び上向きの気配となっており、地域別では広島市が着工戸数609戸で3.4%増加、福山市が351戸で28.1%増加、東広島市が186戸で113.8%増加、廿日市市は83戸で62.7%、尾道市が74戸で196.0%となった一方で、呉市は67戸で54.1%減少と、地域間でばらつきが見られ、前年を上回る着工にも今後の反動への懸念や需要の継続性について先行きを不安視する声も多く、経営規模や業態によっても売上や収益等に偏りがある聞き取り結果となった。不安定な需要環境から中小会員は依然厳しい経営環境にあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

引き続き厳しい景況感である。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。

設備の汎用化、共通化、省人化、自動化への投資が増えている。人の多能工化も進めていかなければならない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばいの傾向にある。自動車関連は、若干好調を維持している。

消費財製品の市場は、横ばい傾向にある。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年7月 3,453m³ (対前年7.8%増加)

29年6月 3,559m³

28年7月 3,202m³

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は6月分までの未売上分が7月に計上されたことと、スポット受注により、前月比76%増加、前年同月比34%増加となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機の組立、部品製作及びタービン・コンプレッサ、製鉄機械、各機種共に低操業の状況が続いており、それに伴い、協力会社各社も低操業の状況である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は国内、輸出ともに減少し前月比20%減少、前年同月比18%減少となった。また、経費割合も高くなってきている。

取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。残業規制が厳しくなれば、大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制など、中小企業にとっては厳しいものばかりである。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

7月の国内自動車販売台数は全需が428千台、前年同月比2.9%増加と9ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比1.1%減少と12ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は11.3%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は5.9%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

アメリカの6月の全需は1,474千台で前年同月比3.0%減少と6ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同14.7%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の6月の全需は1,717千台で、前年同月比1.4%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同2.6%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の6月の全需は2,157千台で、前年同月比4.1%増加。マツダ車も同15.1%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の6月の海外販売合計台数は116千台、前年同月比1.7%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの6月の輸出動向については、輸出台数は前年比9.3%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの6月の国内生産台数は、前年同月比8.2%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年7月の船舶建造許可実績は3隻238,500総トン(前月3隻96,700総トン、前年同月4隻163,799総トン)であった。なお、このうち2隻は貨物船で1隻が油槽船で全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具(造船関連団地)

呉鉄工業団地協同組合

オリンピックに関連する建築関係が多忙である。自動車関連は車種により操業度が異なっている。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

平成29年から30年春にかけての学習機の展示会がほぼ終了。価格はほぼ昨年並みか若干下回っている。

全国的には名古屋地区が8月末から9月初旬に品揃えが始まり、10月中旬には各社とも各店舗に陳列される予定である。

家具新聞の情報によると、2017年1月から4月の売上は、前年比4.8%減少。タンスは低迷しているが、比較的好調であった机、テーブルは減少傾向にある。5月はやや持ち直したが、苦戦が予想される。ただ、住宅関連の販売は好調である。

組合員についても同様の状況にあるが、住宅関連、コントラクト(ホテル関係)が好調のため、前年比は2%減少前後で推移していると思われる。

卸売業

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

景気は緩やかに拡大していると言われているが、管内企業においては、ややデフレ傾向にある。中小企業にとっては雇用の確保、人件費アップ等の問題が徐々に拡大している。

「資材関連」においては、新設住宅着工件数は減少傾向、LED市場も後退縮小気味である。

「食品」においては、既存の取引先への売上は減少傾向。人件費アップにより減益となっている。

「繊維」においては、最高気温は上昇し台風の影響もなく、夏物肌着の売れ行きが好調。地方では水害の影響で寝具や衣料品の特需があった。

「雑貨」においては、生活雑貨の既存店への売上は対前年比減少と苦戦している。

最低賃金の引き上げにより、工場閉鎖を検討している組合員がいる。最低賃金の引き上げは理解出来るが、賃上げによるコストアップに苦しんでいる中小企業の実態を認識し、中小企業施策へ反映して行くことが必要であると思われる。

●卸売業(生鮮)

広島水産物仲卸協同組合

鮮魚に寄生虫の「アニサキス」が寄生しているとのマスコミ報道により、鮮魚の売上が減少するなど、風評被害による影響が出ている。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

5月の広島県住宅着工データによると、対前年比45.2%増加。内訳としては持家2%減少、貸家18.8%減少、分譲176.6%増加と分譲マンションの伸びが大きい。

●卸売業(畳・敷物)

広島県藁製品商業協同組合

6月後半からの雨で順調に生育し、今年度の収穫量は平年並みかやや上向くと思われる。古物の在庫は少なく、新物への切り替えは昨年に比べると早くなると思われる。価格も現在の相場を引き

継ぎながら、新表相場が生まれ、盆前より少し高値になり、その後横ばいで推移して行くものと思われる。

小売業

●各種商品小売業

チェーンリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

7月度の売上も対前年比、前月比共に減少した。青果物の相場（単価）安が大きく影響している。（昨年は相場高であった。）また、お中元の売上も客単価の減少が原因で、年々減少傾向にある。

協同組合三次ショッピングセンター

競合店進出から1年が経過し、7月は対前月比変化なしという結果だった。前々年対比では5%増加を目指す必要がある。

8月にオープンする新テナントの集客効果に期待している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

7月度の販売実績は前年同月比2.3%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比11.6%減少、冷蔵庫同6.8%減少、洗濯機同2.5%減少、IHクッキングヒーター同15.9%減少、エアコン同10.4%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

資源エネルギー庁による小売価格調査では、広島県内では前年同月比上昇、前月比はわずかに下降した。

人手不足は継続しており、多くの事業者が頭を抱えている。

全石連が中心となり「満タン&灯油プラス1缶運動」を9月から全国展開する。大規模災害発生直後の店頭混雑を回避するため日頃から車の燃料タンクを満タンに、冬場は灯油の多めの在庫を心がけていただく運動で、広島県でも8月26日からスタートすることとしている。

また今年8月30日、初めて給油所にて、大規模災害に伴う停電を想定し、緊急用発電機での緊急車両への給油等の実地訓練を予定しており、災害時も含めた安定供給体制の確立と、消費者への安心感の醸成に務めている。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

婦人衣料品店を中心に数店舗で夏季セールを行っているものの、売上増には繋がっておらず、集客も横ばいである。

呉中央地区商店街共催の土曜市が開催され、本通商店街でも「きらら夏フェス」と銘打って参加。屋台の出店や呉氏グッズの販売など延べ300人以上の来場者を集めた。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比6.7%減少、前年同月比9.4%増加。車検場収入は前月比8.7%減少、前年同月比5.7%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比5.9%減少、前年比5.9%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

同業者間の競争は厳しく、売上は前月比10%程度増加するも、収益力のアップには至っていない。来月は前月比5%程度減少の予測である。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

今月の防火・防災ラベルの発給枚数においては、割合の高いカーテンは前月比40%減少、壁装は前月比13%減少となった。敷物は前月比21%増加となったが前年比では敷物も32%減少となっている。商業施設、マンション等の大型新築が一段落し、しばらくは低調で推移することが予想される。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比4.3%増加、前年同月比10.4%増加となった。

神辺建設業協同組合

官公庁の上半期予定案件がほぼ例年並みに発注され、受注工事の増加した業者も見受けられる。しかし、民間需要はやや鈍化しており、業者により好不況の差がある。

運輸業

●道路貨物運送業

協同組合尾道地区総合トラックセンター

7月の荷動きに大きな変化はなかった。

燃料価格の動向は、小幅ではあるが上昇傾向にあり、注視している。

松永地区トラック事業協同組合

7月上旬の売上高は前月並みであったが、中旬以降は次第に貨物輸送量が増加し、収益状況も多少ではあるが好転してきた。しかし、前年同月比は売上高、収益状況ともに大きな変化は見られなかった。

機械・製造業関連の売上に大きな変化はなかったが、建設業関連は、中旬頃までは対前年比減少、梅雨明け以降は増加傾向にあった。

軽油価格は多少の上下動で推移しており、貨物輸送量が増え、売上が伸びてくれば、収益状況も好転してくるのではないかと思われる。

ドライバー不足に全く改善の兆しはなく、在籍ドライバーの高年齢化が進んでいる。将来に対して不安を抱えている事業主が多い。

広島輸送ターミナル協同組合

運転者の拘束時間、連続運転時間が規制されたことにより、長距離輸送は他社に委託又は撤退し、または鉄道輸送や海上輸送へとシフトしており、地場の運送業者は自社の物流倉庫から地場企業への輸送が徐々に主流となってきている。

長時間労働を解消するため、荷主都合による待ち時間等の記載が義務化された。慣例として行ってきた付帯作業の無料サービスを有償にする取り組みや運賃値上げ交渉も始まっている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比ともに特に変化はない。

不動産市場も依然として利便性の良い平地の地価は上昇傾向にある。